

令和 7 年度
琉球大学大学院 理工学研究科
学生募集要項

【推薦特別選抜】

出願期間	令和 6 年 6 月 1 7 日（月）～6 月 2 1 日（金）
試 験	令和 6 年 7 月 3 日（水）
合格者発表	令和 6 年 7 月 2 3 日（火）

【一般選抜】

	第 1 期：筆記型	第 2 期：口頭試問型
出願期間	令和 6 年 7 月 2 2 日（月）～ 7 月 2 6 日（金）	令和 6 年 1 2 月 1 8 日（水）～ 1 2 月 2 5 日（水）
試 験	令和 6 年 8 月 1 4 日（水）	令和 7 年 1 月 2 2 日（水）
合格者発表	令和 6 年 9 月 1 7 日（火）	令和 7 年 2 月 1 1 日（火）

【社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高等教員）】

出願期間	令和 6 年 1 2 月 1 8 日（水）～1 2 月 2 5 日（水）
試 験	令和 7 年 1 月 2 2 日（水）
合格者発表	令和 7 年 2 月 1 1 日（火）

令和 6 年 5 月
琉球大学大学院 理工学研究科
博士前期課程工学専攻

目 次

○工学専攻プログラムの再編と募集定員増について（予告）

1. 研究科概要	1
2. 募集人員	2
3. 出願資格	4
4. 出願資格審査	5
5. 出願期間	7
6. 出願手続	7
7. 試験の日時及び場所	14
8. 選抜方法（入試科目）	14
9. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	18
10. 合格者発表	19
11. 入学手続等	19
12. 安全保障輸出管理	20
13. 長期履修制度	20
14. 個人情報の取扱い	20
15. 2次募集	21
16. 問い合わせ先	21
17. 入試統計（志願者数、合格者数）の公開	21
18. 過去問の開示	21
19. 理工学研究科（博士前期課程）工学専攻研究内容	22

理工学研究科博士前期課程 工学専攻プログラムの再編と募集定員増について (予告)

現在、理工学研究科博士前期課程工学専攻では、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援」事業に応募しているところです。事業が採択された場合、令和7年度より下記表のように、現行8プログラムを6プログラムに再編し、高度情報専門人材育成プログラムとして、新たに工学専門技術と高度な情報技術を駆使して独創的なイノベーション人材を育成する「システム情報工学プログラム」を設置するとともに、高度な情報技術を有した実践的且つグローバルなITスペシャリストを育成する「知能情報プログラム」の定員を現行の18名から23名に増員し、工学専攻全体としても93名から98名へ増員する予定です。

また、入学者選抜に関しては、従来通りGEプログラム特別選考、推薦特別選抜、一般選抜（筆記型、口頭試問型）、社会人特別選抜を実施し、選抜方法についても変更はありません。

なお、事業が不採択の場合、現行（令和6年度入試）の8プログラムで募集を行います。採択結果は、令和6年7月頃に琉球大学公式HPに掲載します。

(現行)

プログラム名（8プログラム）	目安定員
材料物質工学	9
熱流体工学	9
知能機械システム	9
電気エネルギー・システム制御	12
電子システム・デバイス	12
社会基盤デザイン	12
建築学	12
知能情報	18
工学専攻 計	93



(事業採択後)

プログラム名（6プログラム）	目安定員
機械システム工学	18
電気電子システム	17
社会基盤デザイン	10
建築学	10
システム情報工学	20
知能情報	23
工学専攻 計	98

1. 研究科概要

人材の養成及び教育・研究上の目的

工学分野における高度な専門知識と研究開発・研究遂行能力を身につけ、国際社会に貢献できる人材を養成する目的を実現するため、ディプロマ・ポリシーを以下のとおりとします。

- (1) 工学分野における高度な専門知識及び技術とその応用力を身につけます。
- (2) 専門分野の知識と技術を活用し、広い視野を持って工学分野の問題に対し、状況把握と課題設定ができ、実践的で創造的な解決力を身につけます。
- (3) 多様な人々と連携できるコミュニケーション能力及び論理的説明が可能なプレゼンテーション能力を身につけます。
- (4) 技術者、研究者としての社会的責任を理解し高い倫理性に基づき行動することができる能力を身につけます。

入学受入方針（アドミッションポリシー）

社会から工学系に求められている高度専門知識と技術を修得し、技術者・研究者として広く国内外で活躍する意欲のある人材を求めます。

2. 募集人員

【現行】

推薦特別選抜

専攻	プログラム名	目安募集人員
工 学	材 料 物 質 工 学	7 名
	熱 流 体 工 学	
	知 能 機 械 シ ス テ ム	
	電気エネルギー・システム制御	3 名
	電子システム・デバイス	3 名
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン	3 名
	建 築 学	3 名
	知 能 情 報	6 名

(注) 合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜（筆記型）の募集人員に加えます。

一般選抜（筆記型・口頭試問型）

専攻	プログラム名	第1期 (筆記型) 目安募集人員	第2期 (口頭試問型) 目安募集人員
工 学	材 料 物 質 工 学	7 名	3 名
	熱 流 体 工 学		
	知能機械システム		
	電気エネルギー・システム制御	3 名	1 名
	電子システム・デバイス	3 名	1 名
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン	3 名	1 名
	建 築 学	3 名	1 名
	知 能 情 報	6 名	1 名

注1. 一般選抜は第1期と、第2期に分けて選抜試験を実施します。

注2. GE プログラム特別選考（学内者限定選考：定員 35 名程度）、推薦特別選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その満たない人数を 第1期の募集人員へ加えます。

注3. 第2期の募集人員には、社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職高校教員）を含みます。

社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高校教員）

専攻	プログラム名	募集人員
工 学	材 料 物 質 工 学	若干名
	熱 流 体 工 学	
	知 能 機 械 シ ス テ ム	
	電 気 エ ネ ル ギ ー ・ シ ス テ ム 制 御	
	電 子 シ ス テ ム ・ デ バ イ ス	
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン	
	建 築 学	
	知 能 情 報	

【事業採択後】

推薦特別選抜

専攻	プログラム名	目安募集人員
工 学	機 械 シ ス テ ム 工 学	4名
	電 気 電 子 シ ス テ ム	4名
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン	2名
	建 築 学	2名
	シ ス テ ム 情 報 工 学	7名
	知 能 情 報	11名

（注）合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜（筆記型）の募集人員に加えます。

一般選抜（筆記型・口頭試問型）

専攻	プログラム名	第1期 （筆記型） 目安募集人員	第2期 （口頭試問型） 目安募集人員
工 学	機 械 シ ス テ ム 工 学	5名	2名
	電 気 電 子 シ ス テ ム	4名	2名
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン	3名	1名
	建 築 学	3名	1名

	シ ス テ ム 情 報 工 学	4 名	1 名
	知 能 情 報	6 名	1 名

注 1. 一般選抜は第 1 期と、第 2 期に分けて選抜試験を実施します。

注 2. GE プログラム特別選考（学内者限定選考：定員 35 名程度）、推薦特別選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その満たない人数を 第 1 期の募集人員へ加えます。

注 3. 第 2 期の募集人員には、社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職高校教員）を含みません。

社 会 人 特 別 選 抜、社 会 人 特 別 選 抜（現 職 高 校 教 員）

専 攻	プ ロ グ ラ ム 名	目 安 募 集 人 員
工 学	機 械 シ ス テ ム 工 学	若干名
	電 気 電 子 シ ス テ ム	若干名
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン	若干名
	建 築 学	若干名
	シ ス テ ム 情 報 工 学	若干名
	知 能 情 報	若干名

3. 出願資格

※次のいずれかに該当する者とします。

- （１）大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- （２）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- （３）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- （４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- （５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- （６）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれ

に準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和7年3月31日までに修了する見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

(9) 令和7年3月31日時点で大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた者(※次の『4. 出願資格審査』が必要です)

(10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者(※次の『4. 出願資格審査』が必要です)

(11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者又は令和7年3月31日までに22歳に達する者(※次の『4. 出願資格審査』が必要です)

※(9)の出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上は「退学」となります。したがって、大学の学部を卒業していることを要件として定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなりますので注意してください。

4. 出願資格審査

出願資格の(9)、(10)、(11)に該当する者については、出願資格の事前審査を受ける必要があります。事前審査の日程及び必要書類等については下表のとおりです。

(1) 推薦特別選抜、一般選抜(筆記型、口頭試問型)

事 項	推薦特別選抜	第1期 一般選抜(筆記型)	第2期 一般選抜(口頭試問型)、 社会人特別選抜・社会人 特別選抜(現職高校教員)
書類提出 期間	令和6年6月3日(月)～ 6月5日(水)	令和6年7月1日(月)～7 月3日(水)	令和6年12月2日(月)～ 12月4日(水)

書類提出 場所	工学部学務係（工学部 1 号館 1 階事務室）		
審査結果 の通知	令和 6 年 6 月 14 日（金） 付け	令和 6 年 7 月 10 日（水） 付け	令和 6 年 12 月 11 日（水） 付け

（２）必要書類

出願資格の（９）の審査に係る必要書類

- ① 事前審査申請書
- ② 成績証明書（最新のもの）
- ③ 在学証明書
- ④ 履修手引き（授業内容一覧及び卒業要件が記載されたもの）

出願資格（９）で必要とされる学業成績

本出願資格における「優れた学業成績」とは以下の３つの条件を満たすものとします。

- ① ３年次までに修得する必要がある必修科目の全部を修得すること。
- ② 修得した選択科目を含め卒業要件単位数の 90%以上の単位を修得すること。
- ③ 修得単位中の点数評価 80 点に相当する単位が指定の割合（下表参照）に達すること。

修得単位中の点数評価 80 点以上に相当する単位の割合	
出 願 時	令和 7 年 3 月末
9 5 %以上	9 5 %以上

〈注意事項〉

※ 入学試験に合格した後、令和 7 年 3 月末までに、学業成績の条件を満たさなければ入学を許可しません。

※ 一般選抜に出願予定の者で、現在有職であるか、又は入学後有職となることが予定されている者は、必ず事前に志望プログラムの予定指導教員と面談を行い、従来の場合と採択後の場合における志望プログラムと修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

出願資格（１０）（１１）の事前審査に係る必要書類

- ① 事前審査申請書
- ② 最終出身学校卒業・修了証明書
- ③ 最終出身学校成績証明書

④ 研究・教育歴証明書（研究・教育内容要旨を含む）

※参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付できます。

5. 出願期間

（１）推薦特別選抜

令和６年６月１７日（月）～ ６月２１日（金）

（２）一般選抜

①第１期：筆記型

令和６年７月２２日（月）～ ７月２６日（金）

②第２期：口頭試問型

令和６年１２月１８日（水）～ １２月２５日（水）

③社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職高校教員）

令和６年１２月１８日（水）～ １２月２５日（水）

6. 出願手続

（１）出願書類

出願者は、下記の書類を添えて、工学部学務係（工学部１号館１階事務室）の提出先へ提出してください。なお、郵送の場合は、封筒に「大学院入学志願書（博士前期課程）」と朱書してください。

〈注意事項〉

受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

また、出願書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

【推薦特別選抜】

出 願 書 類 等 名 称	注 意 事 項
①入学願書、受験票 （写真２葉）	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。 （出願前３ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。裏面に氏名を記入してください。）
②志願者整理票	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。
③卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。

④成績証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
⑤検定料納付証明書 （大学用）及び振込明細等	下記期間に検定料を振り込んだ検定料納付証明書及び振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し（ATM 又はインターネットバンキング利用の場合。） 検定料振込期間：令和6年6月6日（木）～6月14日（金）
⑥研究計画概要	本募集要項所定の様式に従って作成してください。
⑦卒業研究概要	本募集要項所定の様式に従って作成してください。
⑧推薦書	本募集要項所定の様式に従って作成してください。上記「2. 出願資格」に記載された推薦者が作成し、厳封したもの。
⑨外国語（英語） 試験スコア票	TOEFL－iBT、TOEFL－ITP、TOEIC（TOEIC Listening & Reading又はTOEIC Speaking & Writingのいずれか。）、TOEIC－IP（TOEIC Listening & Reading又は、TOEIC Speaking & Writingのいずれか。）、GTEC Academic（2技能又は4技能のいずれか。）、GTEC Business（2技能又は4技能のいずれか。）、Duolingo English Testのいずれかのスコア票（コピーも可とする）を提出すること。（複数提出も認めます。その場合は、有利なスコアを採用します。）。ただし、スコア票は <u>令和4年4月1日以降受験のもの</u> に限ります。また、上記スコア以外のスコア票を利用したい場合は、事前に工学部学務係へ連絡すること。
⑩受験承諾書	<u>現在、他の大学院に在学中の者又は在職中の者は</u> 、本募集要項所定の用紙を用い、その長の受験承諾書を提出すること。
⑪学位を取得していることを証明する書類	<u>出願資格の「（6）外国大学の修了者等」又は「（8）文部科学大臣の指定した者」</u> の場合、提出すること。
⑫学士の学位申請予定証明	<u>高等専門学校専攻科からの志願者は提出すること</u> （出身学校所定のもの）。
⑬返信用封筒 （受験票送付用）	<u>出願書類を郵送する者は</u> 、長3封筒（縦23 cm×横12 cm）に374円切手（速達）を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。

【一般選抜（第1期：筆記型）、（第2期：口頭試問型）】

出 願 書 類	注 意 事 項
① 入学願書、受験票 (写真2葉)	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。 (出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。裏面に氏名を記入してください。)
②志願者整理票	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。
③卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
④成績証明書	出身大学長等(学部長等)が作成したもの。
⑤検定料納付証明書 (大学用) 及び振込 明細等	下記期間に検定料を振り込んだ検定料納付証明書及び振込日時、 振込金額がわかる明細や画面コピーの写し(ATM又はインターネット バンキング利用の場合。) <u>検定料振込期間</u> <u>(第1期) : 令和6年7月18日(木)～7月26日(金)</u> <u>(第2期) : 令和6年12月16日(月)～12月25日(水)</u>
⑥外国語(英語)試験 スコア票	TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC (TOEIC Listening & Reading又はTOEIC Speaking & Writingのいずれか。)、 TOEIC-IP (TOEIC Listening & Reading又は、TOEIC Speaking & Writingのいずれか。)、GTEC Academic (2技能又は4技能のいずれか。)、GTEC Business (2技能又は4技能のいずれか。)、Duolingo English Testのいずれかのスコア票 (コピーも可とする)を提出すること。(複数提出も認めます。 その場合は、有利なスコアを採用します。)。ただし、スコア票は <u>令和4年4月1日以降受験のもの</u> に限ります。また、上記スコア以外のスコア票を利用したい場合は、事前に工学部学務係へ連絡すること。
⑦受験承諾書	<u>現在、他の大学院に在学中の者又は在職中の者は</u> 、本募集要項所定の用紙を用い、その長の受験承諾書を提出すること。
⑧学位を取得していることを証明する書類	<u>出願資格の「(6)外国大学の修了者等」又は「(8)文部科学大臣の指定した者」</u> の場合、提出すること。

⑨学士の学位申請予定証明	高等専門学校専攻科からの志願者は提出すること（出身学校所定のもの）。
⑩返信用封筒 （受験票送付用）	出願書類を郵送する者は、長3封筒（縦23 cm×横12 cm）に374円切手（速達）を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。

【社会人特別選抜及び社会人特別選抜（現職高校教員）】

入学志願者は、必ず志望プログラムの希望指導教員との面談を行い、修学条件等について十分確認を行ってください。

出 願 書 類	注 意 事 項
①入学願書、受験票 （写真2葉）	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。 （出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向きとし、受験票と入学願書に貼付してください。裏面に氏名を記入してください。）
② 志願者整理票	本募集要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。
③卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
③ 成績証明書	出身大学長等（学部長等）が作成したもの。
④ 検定料納付証明書 （大学用）及び振込明細等	下記期間に検定料を振り込んだ検定料納付証明書及び振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し（ATM又はインターネットバンキング利用の場合。） <u>令和6年12月16日（月）～12月25日（水）</u>
⑥研究計画概要	本募集要項所定の様式に従って作成してください。
⑦受験承諾書	<u>大学院に在学中の者又は在職中の者は、本募集要項所定の用紙を用い、その長の受験承諾書を必要とします。</u>
⑧研究業績報告書	<u>研究業績（卒業論文、研究報告書、学術論文）を有する者は、その概要を本募集要項所定の用紙にまとめて提出すること。</u>
⑨学位を取得していることを証明する書類	<u>出願資格の「（6）外国大学の修了者等」又は「（8）文部科学大臣の指定した者」の場合、提出すること</u>

⑩返信用封筒（受験票送付用）	出願書類を郵送する者は、長3封筒（縦23 cm×横12 cm）に374円切手（速達）を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。
----------------	---

（２）出願方法

出願書類を「書留速達」で所定の期間内に提出先に郵送してください。

直接持参する場合の受付時間は、9時00分から17時15分（12時から13時を除く）までとします。ただし、土曜、日曜及び祝日は、受付をしません。

（３）提出先

工学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電 話 098-895-8583（直通）

F A X 098-895-8590

E メール kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

（４）検定料振込

①検定料 30,000 円（所定の「検定料振込書」を使用してください。）

②振込期間

上記【6. 出願手続】を参照。

③振込方法

振込は、1. 銀行窓口、2. A T M又はインターネットバンキングを利用することができます。なお、振込の際には金額の誤りに十分ご注意ください。

また、振込手数料については、志願者本人負担となります。

1. 銀行窓口

・ 検定料振込書に必要事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。

・ 氏名を記入した「検定料納付証明書（大学提出用）＊1」の原本を出願書類に同封して提出してください。

＊1 「検定料納付証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印が押印されていること。

2. A T M又はインターネットバンキング

※ATM 利用の場合はキャッシュカードを利用し振り込んでください。

・ 振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（理工学研究科（工学系）博

士前期課程は 451) を入力してください。

例)

4	5	1	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・氏名を記入した「検定料納付証明書（大学提出用）＊1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し＊2」を出願書類に同封して提出してください。

＊1 「検定料納付証明書（大学提出用）」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

＊2 「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分（理工学研究科（工学系）博士前期課程は 451）・氏名を記入してください。

留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、1. 銀行窓口利用で「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合及び 2. ATM 又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」が出願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。

② 誤って検定料を二重に振り込んだ場合。

③ 特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※上記①、②に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」を貼付して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。本人以外名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後 2～3 ヶ月程度かかります。）

送付期限：令和 7 年 3 月 31 日（月）

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098-895-8058

※上記③に該当する場合は（５）③の手続を行ってください。

（５）災害等による入学検定料の特例措置

琉球大学では、令和 7 年度の大学院入学者選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以

下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

①措置内容

検定料の免除： 30,000 円

②免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し）
1）災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
2）居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP

（https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/）

・熊本県熊本地方を震源とする地震について：

文部科学省 HP（https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm）

・その他の災害：文部科学省 HP

（https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm）

③申請の方法 申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

④検定料を誤って納付した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式「返還金払戻請求書」に、「免除申請書」及び「罹災証明書（写し）等」を添えて下記送付先へ申請してください。申請後、検定料を返還します（払戻の理由は「4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択）。

※返還金払戻請求書の送付期限 令和7年3月31日（月）

（送付先）〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 電話 098-895-8058

7. 試験の日時及び場所

	推 薦 特 別 選 抜	一 般 選 抜 （ 筆 記 型 ）	一般選抜（口頭試問型）、社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高校教員）
試験日	令和6年7月3日（水）	令和6年8月14日（水）	令和7年1月22日（水）
予備日	令和6年7月5日（金）	令和6年8月16日（金）	令和7年1月24日（金）
集合時刻及び試験室	試験日前日 13:00 までに工学部1号館玄関前に掲示します。	試験日前日 13:00 までに工学部1号館玄関前に掲示します。	試験日前日 13:00 までに工学部1号館玄関前に掲示します。

※予備日とは、暴風警報の発令等で本来の試験日に試験が実施できない場合の試験日です。

8. 選抜方法（入試科目）

【推薦特別選抜】

- （1） 入学者の選抜は、試験の成績及び出願書類を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。
- （2） 試験科目は、口頭試問です。卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などについての口頭による説明に対して審査します。
- （3） 配点

配 点		
学業成績	英語スコア	口頭試問
400	100	200

（4） 注意事項

- ①出願後、出願事項の変更は認めません。
- ②試験当日は、集合時刻までに各試験室又は控室へ到着してください。
- ③集合時刻から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- ④推薦特別選抜で合格しなかった者は、一般選抜（筆記型、口頭試問型）に出願することができます。一般選抜募集要項に従って出願してください。なお、一般選抜に出願する際には、別途検定料の納付が必要です。

【一般選抜】

- （1） 入学者の選抜は、学力検査、面接、出願書類を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。

(2) 事業採択後も受験する試験科目は、受入指導教員が所属する現行のプログラムが実施する下記に示す試験科目を受験します。不明な点があれば事前に受入希望教員に相談してください。

(3)

① (第1期：筆記型) 試験科目及び試験時間等

志願者は、各志望プログラムの試験開始 30 分前に各試験室又は控室へ集合してください。

プログラム名	試験科目 (筆記試験)	試験時間
材料物質工学 熱流体工学 知能機械システム	〔専門科目〕 材料力学, 機械材料及び機械工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学の内から出願時に 2 科目を選択 (関数機能をもつ電池式電卓の使用を認めます。)	9 : 00～10 : 30
	〔数学〕 工業数学 (常微分方程式, 線形代数)	10 : 50～11 : 30
	面 接	13 : 30～
社会基盤デザイン	〔専門科目〕 構造力学, 土質力学, 水理学, 土木計画, 建設材料学 * 出願時に 2 科目を選択	9 : 00～10 : 30
	面 接	13 : 30～
建築学	〔専門科目〕 建築計画学, 都市計画学, 建築環境工学, 建築構造力学, 建築防災工学 * 出願時に 3 科目を選択	9 : 00～10 : 30
	面 接	13 : 30～

電気エネルギー・システム制御 電子システム・デバイス	〔専門科目〕 電磁気学，工業数学， 回路理論 * 全 6 問中 4 問を選択する。各科目から 1 問は必ず選択する。	9 : 30～11 : 30
	面 接	13 : 30～
知能情報	〔数 学〕 線形代数，確率及び統計 * なお，工学系数学統一試験（EMaT）のスコア（線形代数，確率・統計）を用いることができる。 <u>ただし，EMaT スコアの利用を希望する場合は入学願書及び受験票にその旨を記載し，スコアを添付するものとする。</u> また，選択する 2 科目のスコアは，同一回の試験で実施したものでなければならない。	9 : 00～10 : 00
	〔専門科目〕 情報分野における課題解決に関する論述	10 : 10～11 : 30
	面 接	13 : 30～

②（第 2 期：口頭試問型）の試験科目及び試験時間等

志願者は，試験開始 30 分前に各志望プログラムの各控室へ集合してください。

プログラム名	試験科目	試験時間
全プログラム	卒業研究に関連した口頭試問等及び面接	9 : 00～12 : 00

(3) 配点

①第1期：筆記型

配 点			
学業成績	英語スコア	筆記試験	面接
200	100	400	(合・否)

②第2期：口頭試問型

配 点			
学業成績	英語スコア	口頭試問	面接
200	100	400	(合・否)

(4) 注意事項

- ①出願後、出願事項の変更は認めません。
- ②試験当日は、試験開始 30 分前（面接においては集合時刻）までに各試験室又は控室へ到着してください。
- ③試験開始時刻（面接においては集合時刻）から 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

【社会人特別選抜・社会人特別選抜(現職高校教員)】

- (1) 社会人特別選抜及び社会人特別選抜(現職高校教員)の入学者選抜は、書類審査、小論文及び面接（口頭試験含む）の結果を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。
- (2) 試験科目及び試験期日等（社会人特別選抜及び社会人特別選抜(現職高校教員)）
志願者は、試験開始 30 分前に各志望プログラムの控え室へ集合してください。

プログラム名	試験科目	時 間
全プログラム	小論文	10:00～11:30
	面 接	13:00～

(3) 配点

配 点	
学力検査等（小論文）	面 接
100	(合・否)

(4) 注意事項

- ①出願後、出願事項の変更は認めません。
- ②試験当日は、試験開始 30 分前までに、(面接(口頭試問)においては集合時刻) までに各控室へ到着してください。
- ③試験開始時刻(面接(口頭試問)においては集合時刻)から 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

9. 障がい等のある入学志願者(受験時における合理的配慮等)

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。「検討結果通知書」の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには 2～3 週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、以下の連絡先までご相談ください。

(1) 申込期間は、出願開始日前の 2 週間の期間とします。

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

なお、申請期限後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)のため、受験上の配慮を希望する場合は、問い合わせ先までご相談ください。

(2) 申請方法

以下の書類を、障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

①「受験時における合理的配慮申請書」(本学指定の様式)

②「医師からの意見書」(本学指定の様式)

③その他相談する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ(<https://gsupport.std.u-ryukyu.ac.jp>)「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地
 全保連ステーション（大学会館）2 階
 琉球大学障がい学生支援室
 電話：098-895-8750FAX：098-895-8791
 E-mail：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

10. 合格者発表

推 薦 特 別 選 抜	令和 6 年 7 月 23 日（火）13:00
（第 1 期）一般選抜（筆記型）	令和 6 年 9 月 17 日（火）13:00
（第 2 期）一般選抜（口頭試問型）	令和 7 年 2 月 11 日（火）13:00
社会人特別選抜・社会人特別選抜（現職 高校教員）	令和 7 年 2 月 11 日（火）13:00

工学部 1 階事務室前に掲示するとともに、琉球大学工学部ホームページに掲載します。
 また、合格者へは郵送にて通知します。不合格者への通知は行いません。
 なお、電話等による問い合わせには応じません。

11. 入学手続等

（1）入学手続期間

入学手続期間等については、令和 7 年 3 月下旬を予定しております。

（2）入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000 円（予定額）

授業料（前期分）267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

（注）①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料については、本人の申し出により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予、あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。また、所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の徴収を猶予します。

（3）入学手続きの詳細については、別途合格者に対して「入学手続案内」を送付します。

1 2. 安全保障輸出管理

琉球大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「国立大学法人琉球大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、外国人留学生の方はなるべく出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取るようになしてください。

1 3. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限（2年間（4学期））を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談のうえ、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

1 4. 個人情報の取扱い

本研究科が入学選抜を通じて取得した個人情報については、入学選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- （1）合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- （2）入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- （3）入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。
- （4）入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生遠考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- （5）出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。
- （6）個人が特定できないように統計処理したデータを、入学選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本研究科が入学選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

15. 2次募集

合格者が募集人員に満たない場合は、第2次募集の試験を実施します。第2次募集による選抜試験は、3月に予定しています。

16. 問い合わせ先

琉球大学 工学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 098-895-8583（直通）

F A X 098-895-8590

Eメール kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

17. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開

入試に関する統計を以下より公開しています。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/#graduate_school_etc_examination

18. 過去問の開示

受験希望者の方のために、過去の入試問題を閲覧公開しています。

閲覧時間：11:00～16:30（12:00～13:00を除く）

閲覧場所：工学部各コース事務室、又は受入予定教員へお尋ねください。

閲覧に必要なもの：身分証等

閲覧方法：各コース事務室の指示に従ってください。

19. 理工学研究科（博士前期課程）工学専攻研究内容

【現行】

プログラム名	研 究 内 容
材料物質工学	傾斜機能材料，多孔質体，金属，プラスチック，セラミックス，電析薄膜，電気化学測定法，相転移論，射出成形，鋳造，塑性加工，切削加工，研削，溶接，溶射，合金接合，腐食，防食，腐食疲労，疲労破壊，転位組織，摩耗，塑性力学，塑性構成式，破面解析，破壊力学，計算機シミュレーション（有限要素法，有限差分法，境界適合要素法，モンテカルロ法）
熱流体工学	凝縮熱伝達，熱交換器，伝熱促進・制御，電子機器の冷却，二酸化炭素の分離回収，CCS（二酸化炭素固定化），クラスレートハイドレート，分離技術，濃縮技術，海水淡水化，内燃機関，噴霧の微粒化と着火燃焼，プラズマ工学，溶接工学，非定常流れ，乱流境界層，流体関連振動，混相流，数値流体力学，流体計測，流れの可視化，風力エネルギー，水素エネルギー，燃料電池，移動現象
知能機械システム	画像処理，信号処理，最適制御，ロバスト制御，神経回路網，遺伝アルゴリズム，応用振動工学，ロボットビジョン，非線形制御，可視化画像・情報解析
電気エネルギー・システム制御	電気機器制御，自然エネルギー，エネルギー変換，パワーエレクトロニクス，プラズマの発生と制御，電力工学，電力系統工学，磁性材料，磁気応用，現代制御理論，知的制御，非線形制御，生体医工学，大気電気学
電子システム・デバイス	半導体放射線検出器，ダイヤモンド状炭素薄膜の合成，薄膜プロセス，多孔質 Si の構造評価，強誘電体薄膜の合成，多値論理回路の合成，超高速演算回路の設計，量子計算機の設計，ソフトコンピューティングと画像処理，情報通信工学，光伝送工学，非同期システム，フォールトトレラントシステム
社会基盤デザイン	社会システム計画学，災害リスクマネジメント，交通計画，観光地域計画，景観デザイン，参加型まちづくり，海岸工学，海洋開発工学，河川工学砂防工学，応用連続体力学，数値流体力学，土質力学，岩盤力学，地盤環境工学，応用地質学，地盤防災，鋼構造，橋梁工学，座屈・耐荷力，疲労，腐食，塩害環境評価，コンクリートの材料分析・材料設計，コンクリート構造物の耐荷性・耐久性・耐震性，劣化環境評価，各種劣化診断・予測，維持管理・モニタリング技術，混和材の有効利用，マテリアルズ・インフォマティクス

建築学	建築計画, 建築意匠, 建築史, 住宅計画, 持続可能建築, 省エネルギー建築, 都市熱環境, 建築熱環境, 数値流体力学, 騒音制御, 音響設計, 都市計画, 地域開発, ランドスケープ, 鉄筋コンクリート構造, 補強コンクリートブロック構造, 耐震性能, 耐震補強, 鉄筋コンクリートの耐久性, 塩害環境評価, 複合材料, 建築材料, フレッシュコンクリートのレオロジー, 計算力学, 環境シミュレーション, フライアッシュの有効利用, 非線形解析, 有限要素解析, 風工学, 上空風観測, 高層建築物の耐風安定性
知能情報	計算機システム, 信号処理, 情報通信, ネットワーク工学, ソフトウェアシステム, マルチメディア情報処理, 知能システム, システム解析, 知能ロボット, 機械学習, データマイニング, UI/UX, xR (VR/AR/MR), 人間拡張, 生体情報処理, 複雑系工学, 数理モデル, システム数理, IoT 技術, 産業応用, 超高精細映像, 映像符号化・伝送

【事業採択後】

プログラム名	研 究 内 容
機械システム工学	傾斜機能材料, 多孔質体, 金属, プラスチックス, セラミックス, 電析薄膜, 電気化学測定法, 相転移論, 射出成形, 鋳造, 塑性加工, 切削加工, 研削, 溶接, 溶射, 合金接合, 腐食, 防食, 腐食疲労, 疲労破壊, 転位組織, 摩耗, 塑性力学, 塑性構成式, 破面解析, 破壊力学, 計算機シミュレーション (有限要素法, 有限差分法, 境界適合要素法, モンテカルロ法)
	凝縮熱伝達, 熱交換器, 伝熱促進・制御, 電子機器の冷却, 二酸化炭素の分離回収, CCS (二酸化炭素固定化), クラスレートハイドレート, 分離技術, 濃縮技術, 海水淡水化, 内燃機関, 噴霧の微粒化と着火燃焼, プラズマ工学, 溶接工学, 非定常流れ, 乱流境界層, 流体関連振動, 混相流, 数値流体力学, 流体計測, 流れの可視化, 風力エネルギー, 水素エネルギー, 燃料電池, 移動現象
	画像処理, 信号処理, 最適制御, ロバスト制御, 神経回路網, 遺伝アルゴリズム, 応用振動工学, ロボットビジョン, 非線形制御, 可視化画像・情報解析
電気電子システム	電気機器制御, 自然エネルギー, エネルギー変換, パワーエレクトロニクス, プラズマの発生と制御, 電力工学, 電力系統工学, 磁性材料, 磁気応用, 現代制御理論, 知的制御, 非線形制御, 生体医工学, 大気電気学
	半導体放射線検出器, ダイヤモンド状炭素薄膜の合成, 薄膜プロセス, 多孔質 Si の構造評価, 強誘電体薄膜の合成, 多値論理回路の合成, 超高速演算回路の設計, 量子計算機の設計, ソフトコンピューティングと画像処理, 情報通信工学, 光伝送工学, 非同期システム, フォールトトレラントシステム

社会基盤デザイン	社会システム計画学，災害リスクマネジメント，交通計画，観光地域計画，景観デザイン，参加型まちづくり，海岸工学，海洋開発工学，河川工学砂防工学，応用連続体力学，数値流体力学，土質力学，岩盤力学，地盤環境工学，応用地質学，地盤防災，鋼構造，橋梁工学，座屈・耐荷力，疲労，腐食，塩害環境評価，コンクリートの材料分析・材料設計，コンクリート構造物の耐荷性・耐久性・耐震性，劣化環境評価，各種劣化診断・予測，維持管理・モニタリング技術，混和材の有効利用
建築学	建築計画，建築意匠，建築史，住宅計画，持続可能建築，省エネルギー建築，都市熱環境，建築熱環境，数値流体力学，騒音制御，音響設計，都市計画，地域開発，ランドスケープ，鉄筋コンクリート構造，補強コンクリートブロック構造，耐震性能，耐震補強，鉄筋コンクリートの耐久性，塩害環境評価，複合材料，建築材料，フレッシュコンクリートのレオロジー，計算力学，環境シミュレーション，フライアッシュの有効利用，非線形解析，有限要素解析，風工学，上空風観測，高層建築物の耐風安定性
システム情報工学	機械学習，深層学習，ICT データベース，AI 応用，パターン認識，自己組織化，バイオインフォマティクス，データマイニング，海洋ロボット，システム状態量子計算機，FPGA 回路設計，無線通信システム，IoT 技術，ロボットシステム，メカトロニクス，医用電子工学，交通計画，数値流体力学，劣化環境評価，各種劣化診断・予測，モニタリング技術，環境シミュレーション，画像処理，マテリアルズ・インフォマティクス
知能情報	計算機システム，信号処理，情報通信，ネットワーク工学，ソフトウェアシステム，マルチメディア情報処理，知能システム，システム解析，知能ロボット，機械学習，データマイニング，UI/UX，xR（VR/AR/MR），人間拡張，生体情報処理，複雑系工学，数理モデル，システム数理，IoT 技術，産業応用，超高精細映像，映像符号化・伝送

入試案内添付資料

プログラム別試験科目の主な出題範囲

材料物質工学プログラム，熱流体工学プログラム，知能機械システムプログラム

科 目 名	主 な 出 題 範 囲
工 業 数 学	常微分方程式，線形代数学
材 料 力 学	単軸応力とひずみ，軸のねじり，はりの曲げ
機 械 材 料	状態図，熱処理，金属材料・セラミックス・高分子の組織と強度
機 械 工 作 法	鋳造，溶接，塑性加工，切削加工，研削加工の理論と応用
流 体 力 学	オイラーの式，ベルヌーイの式，粘性法則等流体力学の基礎とその応用
熱 力 学	熱力学の第一および第二法則，理想気体の諸変化，水蒸気の性質等熱力学の基礎
制 御 工 学	伝達関数，ブロック線図，応答（ステップ応答，周波数応答など），安定判別など

電気エネルギー・システム制御プログラム，電子システム・デバイスプログラム

科 目 名	主 な 出 題 範 囲
電 磁 気 学	真空中の静電界，静電容量，定電流と磁界，電磁誘導
工 業 数 学	線形代数学，常微分方程式，フーリエ解析，複素関数
回 路 理 論	直流回路，交流回路，過渡現象，分布定数回路

社会基盤デザインプログラム

科 目 名	主 な 出 題 範 囲
構 造 力 学	静定構造力学（反力，断面力，変形），不静定構造力学
土 質 力 学	土の力学的性質，透水，土の圧密問題，安定問題（沈下，土圧，斜面，基礎）
水 理 学	基礎方程式，静水力学，開水路及び管路の流れ
土 木 計 画	基礎統計・検定，回帰モデル，数理計画，ネットワーク計画，工程管理計画
建 設 材 料 学	コンクリート用材料，フレッシュコンクリート，硬化コンクリート，配合設計，鉄筋コンクリートの曲げ理論

建築学プログラム

建 築 計 画 学	建築計画，建築史
都 市 計 画 学	都市計画，土地利用計画と規制，市街地整備
建 築 環 境 工 学	音響，日照，日射，温熱，伝達，換気，湿気
建 築 構 造 力 学	静定構造及び簡単な不静定構造，仮想仕事法
建 築 防 災 工 学	地震と耐震構造，台風と耐風構造，地盤と基礎構造

知能情報プログラム

科 目 名	主 な 出 題 範 囲
線 形 代 数	行列，連立1次方程式，行列式，ベクトル，固有値，線形変換，線形写像
確 率 及 び 統 計	確率変数，分布，統計的推測

入 学 願 書 貴大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）工学専攻への入学希望につき、 所定の書類を添え出願します。 令和 年 月 日 琉球大学長 殿 氏名				写 真 添 付 縦4 cm×横3 cm 正面向き上半身脱 帽 4 カ月以内に撮影 し たもの（裏面に氏 名 を記入）			
選 抜 区 分 (該当事項を○で囲む)		1. 推薦特別選抜 2. 一般選抜（筆記型） 3. 一般選抜（口頭試問型）				4. 社会人特別選抜 5. 社会人特別選抜 (現職高校教員)	
希望指導教員							
志望プログラム		現行		プログラム			
		採択後		プログラム			
一般選抜（筆記型）のみ記入 (※該当するプログラム以外は記入不要)				外 国 語（ 英 語 ） (※提出するスコアを○で囲む。社会人特別選 抜は不要)			
※材料物質工学プログラム，熱流体工学プログラム，知能機械システムプ ログラムは2 科目選択して記入 ※社会基盤デザインプログラムは2 科目を選択して記入 ※建築学プログラムは3 科目を選択して記入 ※知能情報プログラムでEMaTスコアの利用を希望する場合はその旨記入				• TOEFL-iBT • TOEFL-ITP • TOEIC (L&R, S&W) • TOEIC (L&R, S&W) -IP • GTEC Academic (2技能, 4技能) • GTEC Business (2技能, 4技能) • Duolingo English Test • その他			
氏 名			性別	生 年 月 日			
(フリガナ)			男	昭和 ・ 平成 年 月 日			
			女	(満 才) 令和 7 年 4 月 1 日現在			
本 籍 地 (外国人の場合は国籍名)		(都道府県のみ記入)					
保 護 者 等 連 絡 先		氏 名		続柄			
		現住所		TEL : - -			
志 願 者 受 信 場 所		〒 -					
		携帯 : - -		TEL : - -			
		Eメール :					
出 願 資 格		昭和 ・ 平成 ・ 令和 年 月					
		大学 学部 学科 卒業・卒業見込					

備考 1. 願書記入（消せるボールペンは不可）の際は，本募集要項を熟読の上，記入漏れのないようにすること。
2. 履歴事項は，次のページに記入すること。
3. 連絡受信場所が変更になった場合には，速やかに連絡すること。 (次のページへつづく)

履 歴 書		
学 歴	年 月 (和暦)	事 項
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
職 歴	・	
	・	
	・	
賞 罰	・	
	・	
上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 氏 名		

推 薦 書

推薦特別選抜

氏 名			
(推薦理由)			
推 薦 者	令和 年 月 日		
	推薦者の所属	職名	
	推薦者の氏名	⑩	

令和7年度 琉球大学大学院理工学研究科
博士前期課程（工学系）工学専攻入学者選抜試験

受 験 票

選抜区分 (該当事項を○で囲む)	1. 推薦特別選抜 2. 一般選抜（筆記型） 3. 一般選抜（口頭試問型） 4. 社会人特別選抜 5. 社会人特別選抜（現職高校教員）		
受 験 番 号 (※記入しないこと)			
(フリガナ) 氏 名	()	性 別 男 ・ 女	
志望指導教員			
志望プログラム	現行	プログラム	
	採択後	プログラム	
一般選抜(筆記型)のみ記入 (※該当するプログラム以外は記入不要)		英語スコア（※社会人特別選抜は不要）	
・材料物質工学プログラム，熱流体工学プログラム，知能機械システムプログラムは2科目選択して記入 ・社会基盤デザインプログラムは2科目を選択して記入 ・建築学プログラムは3科目を選択して記入 ・知能情報プログラムで EMaT スコアの利用を希望する場合はその旨記入		(※提出するスコアを○で囲む) ・ TOEFL-iBT ・ TOEFL-ITP ・ TOEIC (L&R, S&W) ・ TOEIC (L&R, S&W)-IP ・ GTEC Academic (2 技能、4 技能) ・ GTEC Business (2 技能、4 技能) ・ Duolingo English Test ・ その他	
注意事項 1. 受験控室には試験開始 30 分前までに入室すること。 2. 試験開始後 30 分を超えて遅刻した者には，試験を行わない。 3. 不正行為のあった者は，直ちに退場を命ずる。 4. 受験に際しては，本票を必ず持参すること。		写 真 添 付 (縦 4cm×横 3cm) 正面向き上半身脱帽 3 カ月以内に撮影したもの（裏面に氏名を記入）	

研 究 計 画 概 要

志願理由も含めて以下にまとめること。

※受験番号(記入しないこと)	氏 名		希望指導教員	

(注意)
パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接または本様式に準じて別紙(A4判)に作成すること。

卒業研究概要

※受験番号(記入しないこと)				
	氏 名		希望指導教員	

(注意)
パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接または本様式に準じて別紙(A4判)に作成すること。
琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）工学専攻

研究業績報告書(社会人特別選抜用)

論文名及びその概要を以下にまとめること。

※受験番号(記入しないこと)				
	氏 名		希望指導教員	

(注意)

パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接または本様式に準じて別紙(A4判)に作成すること。

受 験 承 諾 書

令和 年 月 日

琉球大学大学院理工学研究科長 殿

受験者の職名：

フリガナ
氏 名：

上記の者が、貴大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）工学専攻
に受験することを承諾します。

氏 名： 印

本人との関係：

事業所等：

現 住 所： 〒

電 話：

出 願 資 格 事 前 審 査 申 請 書

令和7年度琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）工学専攻入学者選抜の
出願資格事前審査を受けたいので、次のとおり申請します。

※出願資格（本募集要項の〔共通事項2〕参照）の該当する事項に○を記入してください。				※出 願 資 格			
				(10)		(11)	
(フリガナ) 氏 名	() 印		住所				
生年月日（年齢）	年 月 日 (歳)		現職				
希望プログラム（新）	プログラム（従来）		プログラム				
希 望 指 導 教 員							
学歴（高校卒業時から記入すること。）							
年 月 日	事 項						
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
職 歴							
年 月 日	事 項						
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
年 月 日							
研究・教育歴（研究・教育歴証明書を添付すること。）							
年 月 日	事 項						

※受験番号：
(大学院理工学研究科入試用)

検定料免除申請書

令和 年 月 日

琉球大学長 殿

(請求者)

出願研究科 理工学研究科博士前期課程(工学系) 工学専攻

プログラム

志願者氏名 フリガナ _____ 印

住 所 〒 _____

電 話 _____

文部科学省から配慮依頼がある災害等において、下記のとおり被災しましたので、り災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況(該当箇所にチェックしてください。)

- ☐全壊 ☐大規模半壊 ☐半壊 ☐流出 (り災証明書を添付)
- ☐学費負担者死亡又は行方不明 (死亡又は行方不明を証明する書類を添付)
- ☐福島第一原子力発電所事故による避難区域等 (被災証明書を添付)

返還金払戻請求書

琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

電話番号

私が令和 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払戻を請求します。

- 1. 誤納
- 2. 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
- 3. 書類不備等による出願書類の不受理
- 4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当
- 5. その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ				保護者名義の場合の続柄
口座名義				
取引金融機関名 本・支店名	銀 行		支 店	
預金種別	1 普 通		2 当 座	
口座番号	(店 番)	—	(口座番号)	

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振り込を受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は、口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2〜3ヵ月程度かかります。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。

※払戻理由のうち、4. 災害等による
入学検定料の特例措置に該当
を選択された場合は貼り付け不
要です。

※各金融機関備付の振込依頼書
で振り込んだ場合は、受領書を
同封してください。

記入上の注意

- 「**検定料振込書**」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先（枠内に○印）》
- 振込手数料については，志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「**検定料納付証明書（大学用）**」を受け取る際は，取扱金融機関収納印が押印されているか確認してください。
- 「**検定料納付証明書（大学用）**」は出願書類に同封して提出してください。
- 以下の「**検定料振込書**」が使用できない場合は，各金融機関に備え付けの「**振込依頼書**」で振り込んでください。その後，振込依頼書の控え（写し可）及び氏名を記入した「**検定料納付証明書（大学用）**」の原本を出願書類に同封して提出してください。振り込みの際は，振込人氏名（志願者本人）の前に必ず募集区分（451）を付してください。

検 定 料 振 込 書

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日		年 月 日	
金額		¥30,000—	
※振込先	行い に○ れを かす の銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711
		沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358
		みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859
（※依頼者）	※募集 区分	451	
	（フリガナ）		
	氏 名		
令和7年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（工）博士前期課程			

取扱金融機関
収納印

（取扱店→振込人→大学）

振込金（兼手数料）領収書

※ 依頼日		年 月 日		手 数 料	
振 込 金 額		¥ 3 0 0 0 0 0		円	
※振込先	行い に○ れを かす の銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		
		沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366		
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358		
		みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859		
受取人 口座名		国立大学法人 琉球大学			
（※依頼者）	（フリガナ）				
	氏 名				
令和7年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（工）博士前期課程					

取扱金融機関
収納印

（取扱店→振込人）

振 込 依 頼 書

取扱店へのお願い
○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

※ 依頼日		年 月 日		振込 指定	電 信 扱	手数料	勘 定 科 目	
※振込先	行い に○ れを かす の銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711			金額	¥ 3 0 0 0 0 0 円	
		沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366			内 訳	現金	
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358					
		みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859					
口受 座取 名人	コクリツダバカクホジシヨ リュウキョウダバカク 国立大学法人 琉球大学							
（※依頼者）	※募集 区分	451	※ フリガナ					
	※ 氏 名							
願 頼 者 人	※（住所）						取扱金融 機関 収納印	
	（電話番号）							
備 考	令和7年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（工）博士前期課程 【納入期間】 推薦特別選抜 令和6年6月6日（木）～6月14日（金） 一般選抜（第1期） 令和6年7月18日（木）～7月26日（金） 一般選抜（第2期） 令和6年12月16日（月）～12月25日（水） 社会人（現職高校教員）令和6年12月16日（月）～12月25日（水）							

（取扱店用）